

朗読パンダ第 2 回番外公演 稽古期間及び公演期間中の新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン

2021 年 10 月 4 日
朗読パンダ

朗読パンダでは、第 2 回番外公演の開催にあたり、公演関係者及び来場者の安全確保のため、下記の通り稽古期間及び公演期間中の新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインを制定します。本ガイドラインは公益社団法人全国公立文化施設協会の「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン改定版」並びに緊急事態舞台芸術ネットワークの「舞台芸術公演における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」に基づいて策定しています。なお、本ガイドラインの内容は、今後の感染の動向や国の対処方針の変更、専門家の知見等を踏まえ、必要に応じて適宜改訂を行うものとなります。

【公演関係者の感染予防対策】

- 平熱と比べて高い発熱が認められる場合や体調不良（咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐等の症状）を感じた場合には、主催者（※）に報告の上、自宅待機とする。
- 主催者は、コロナ感染の症状に該当する関係者がいた場合、医師の判断を仰ぐか、帰国者・接触者相談センターに相談することを促す。
- 過去 2 週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合、自宅待機とする。
- 濃厚接触者であることを通知された者は、主催者に連絡の上、保健所の指示に従い自宅待機とする。
- 公演関係者は可能な限り接触確認アプリ（COCOA や自治体の通知アプリ、QR コードを活用したシステムを含む）等を利用するものとする。
- 稽古開始 2 週間前から公演終了後 2 週間までの期間は、日々の体温測定を含む健康観察を徹底し、感染リスクの高い場所への出入りは控える。同居する家族等がいる場合は同居人にも感染防止対策へ協力を求める。人混みに出る際は常時マスクを着用する。マスクの種類は不織布以上のガード力のある素材を推奨する。
- 主催者は、感染者数の状況や関係者の状況により、適宜対面の稽古ではなくリモートでの稽古に切り替える。
- 稽古場及び劇場への入室・入館時には検温を行う。
- 日々手指の消毒、石鹸での手洗い、うがいを徹底する。稽古場及び劇場への入室・入館時は必須とする。
- 稽古は可能な限り最少人数にて行う。出演者は稽古終了後、速やかに退出、帰宅するものとし、稽古場への滞在時間を最小限にする。

- 稽古場には参加者数の倍以上の人数が収容できる広さの施設を用意する。稽古中は演技上必要な場合を除き、1m以上の距離を確保する。
- 稽古中は、表現上困難な場合などを除き、原則としてマスクを着用する。
- 稽古場では原則として常時換気を行う。但し周辺住民等への騒音が危惧される場合は、30分に1回換気を行うものとする。
- 稽古や劇場で必要となる衣装や小道具、その他の物品については、原則として共有や貸し借りを行わない。
- 稽古場や劇場のテーブル、椅子、ドアノブ、電気のスイッチ等、不特定多数が触れる場所については、利用開始前及び利用終了後に消毒を行う。

【公演中止の判断】

- 公演関係者に陽性の疑いのある者や濃厚接触者の数が増え、主催者が上演困難と判断した場合や来場者の安全を担保できないと判断した場合、公演を中止とする。
- 劇場（アトリエファンファーレ東池袋）が行政の要請等を受けて閉鎖した場合、公演を中止とする。

以上